

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	19	学 校 名	静岡県立沼津西高等学校	校 長 名	鈴木 康之
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

沼駿地区の歴史ある伝統校として、普通科・芸術科併置校の特色を生かし、地域との協働による教育活動を通して、未来を切り拓き、より良い社会づくりに参画する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（西高 G P）

卒業までに身につけさせたい資質・能力は、「自分を認め、他者を理解し、深く考え、行動する。」力である。これを構成する具体的な資質・能力は、以下のとおりである。「自己肯定力」「協働力」「情操力」「分析力」「思考力」「創造力」「発信力」「行動力」（説明省略）。

カリキュラム・ポリシー（西高 C P）

- ・ 幅広い学力や進路希望に対応できる教育課程を編成し、生徒一人一人の個性や能力を伸ばす。
- ・ 教育活動全体を通して、自己肯定感や人権感覚を涵養するとともに、他者を尊重し、物事に協力して臨む姿勢を育む。
- ・ 生徒自ら主体的に学び、考え、行動する活動を重視し、多様な経験を積み重ねることで人間的な成長を促す。
- ・ 社会の激しい変化に対応できるよう、課題を発見し探究する力を育むとともに、豊かな国際感覚を養い、社会貢献できる実践力を育む。
- ・ 芸術を愛好する心と自己の考え方に基づいた表現ができる能力を育む。

アドミッション・ポリシー（西高 A P）

- ・ 校訓「克己」のもと、学校生活に意欲的に取り組み、自己の在り方生き方を深く考え、行動しようとすることができる生徒。
- ・ 知的探究心を持ち主体的に学ぶとともに、特別活動等を通して人間性・社会性を高めようとすることができる生徒（普通科）。
- ・ 芸術に対する深い興味、高い学習意欲があり、明確な目標を掲げて専門的な知識・技能を習得しようとすることができる生徒（芸術科）。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

学校創立 120 年の歴史と伝統及び普通科・芸術科併置校の特色と実績を踏まえ、文・武・芸の三道鼎立を实践し、変化の激しい新たな時代において学校のさらなる魅力化を目指して、以下の取組について全校体制で推進する。

- ア 主体的な学びを通して、確かな学力及び論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を育成する。（西高 G P のうち、思考力、協働力、発信力に関連）
- イ 社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。（西高 G P のうち、自己肯定力、協働力、情操力、創造力、行動力に関連）
- ウ 高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を实践する。（西高 G P のうち、自己肯定力、分析力、思考力、発信力、行動力に関連）
- エ 芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。（西高 G P のうち、情操力、思考力、創造力、発信力、行動力に関連）

様式第 1 号

オ 地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。(西高 G P のうち、協働力、分析力、思考力、創造力、発信力、行動力に関連)

カ 安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。

キ 効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。

3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。	○ 主体的な学習態度の確立 ・授業、家庭学習への取組 ・授業における言語活動 ・朝読書、ビブリオバトル ・「探求と表現」における課題研究とプレゼンテーション ○ 授業改善の推進 ・授業公開、校内研修の充実 ・I C T機器の活用促進 ・観点別学習状況の評価	・「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する 1 年生 70%以上、2 年生 80%以上、3 年生 90%以上 ・「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒 80%以上 ・授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員 100% ・「読書に積極的に取り組んだ」と回答する生徒 80%以上	教務課 進路課 図書研修課
イ	社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。	○ 基本的な生活習慣の確立と社会規範の遵守 ・自己管理、自覚・責任ある行動 ・心身の健康保持 ・情報機器の活用と情報リテラシー ○ 西高生としての自覚と誇り ・集団帰属意識、良好な人間関係 ・自己肯定感の向上、愛校心 ・リーダーシップの育成 ○ 部活動の充実 ・主体的な取組、上位大会進出 ・運営改善と再編等の検討	・「心身の健康保持に努めた」と回答する生徒 80%以上 ・「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒 80%以上 ・「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒 90%以上 ・「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒 80%以上 ・県大会以上出場部活動 15 部以上 ・「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する部活加入者 80%以上 ・部活動再編に向けた検討を継続する。	生徒課 部活動委員会
ウ	高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。	○進路指導計画・シラバス ・進路意識の高揚、明確な目標 ・講習等の効果的な実施 ・「学びの基礎診断」、模擬試験の PDCA サイクルによる活用 ・進路情報の発信と活用 ・大学出張講義、社会人講演会等	・進路目標が明確な 1 年生 70%、2 年生 80%、3 年生 90% ・「進路行事が有意義だった」と回答する生徒 70%以上	進路課

様式第 1 号

エ	芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。	○ 学校行事等の実施 ・ 潮音祭における展示、発表等 ○ 芸術科の取組 ・ 専門的な教育と校内外での活動 ・ 地域交流の積極的な実施	・ 合唱コンクールや潮音祭が充実した満足度の高いものであったと回答する生徒 80%以上 ・ 各専攻が企画する演奏会や展覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒 90%以上	生徒課 芸術科
オ	地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。	○ 探究活動の推進 ・ 探究、協働的な学習 ・ 地域資源、地域人材の活用 ○ 国際交流の推進 ・ 台湾との交流 ・ オンラインによる交流 ○ 地域連携・協働 ・ 生徒会、部活動による地域活動	・ 「探究スキルが向上した」と回答する生徒 80%以上 ・ 国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒 90%以上 ・ 「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒 70%以上	探究推進室 学年 英語科 教科 生徒課 部活動
カ	安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。	○ 「命を守る」教育 ・ いじめ防止、いじめ対応 ・ 交通事故防止と防災力の向上 ○ 施設の点検及び整備 ・ 危険箇所の発見と迅速な対応 ・ 施設の定期点検と整備 ○ コンプライアンス意識の向上 ○ 業務改善の推進 ・ 教育活動の見直しと効率化 ・ 時間外勤務の縮減	・ 学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者 80%以上 ・ 「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒 80%以上 ・ 「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒 90%以上 ・ 定期的に施設点検を行い情報共有する。危険箇所については修繕の早期実現を目指す。 ・ 「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員 90%以上 ・ 時間外在校時間の縮減に努めた教員 80%以上	生徒課 総務課 事務部 管理職
キ	効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。	○ 保護者との連携、情報発信 ・ 保護者への情報発信、講演会等 ・ 効果的な P T A 活動の計画及び実施 ○ 広報活動の充実 ・ 報道機関との連携 ・ 学校 H P、インスタグラムの活用	・ 「生徒の成長を目指して、学校と P T A の連携が取れている」と回答する保護者 80%以上 ・ 「子供を入学させて良かった」保護者 80%以上 ・ 「学校行事の実施や広報活動により教育内容が説明されている」保護者 80%以上	総務課 管理職